

特定非営利活動法人WE21 ジャパン都筑

2015年度事業報告

事業概要

WE ショップつづきは、8名の新ボランティアを迎え、買い物に来る方たちもショップに集うこと自体を楽しんでいるという声を聴けるようになりました。リサイクルショップとしての価値だけでなく、チョコ募金や、支援キャンペーンを通じて、平和の大切さを共感できる場にもなってきました。しかし、組織運営上は、次を担う人材育成ができず、このままでは先細りの危機に瀕しています。この活動に共感し、ともに活動する仲間をどう育成していくか、課題の残る年となりました。

事業報告

1. 資源のリユースリサイクルを推進する事業

運営委員会で立てた年間計画に沿って、事業を行い、さらに、季節や、寄付品の状況に合わせて、こまめにフェアなどを行い、本年度売上目標を達成することができました。ショップという拠点を生かし、支援キャンペーン、チョコ募金などのスペースを設け、チャリティショップのアピールをしました。

実績	売り上げ	顧客数	ボランティア のべ（実人数）	寄付者（新規）
2014年度	6,525,234円	7,931人	903人（30）	2,180人（149）
2015年度	6,576,845円	8,039人	966人（33）	2,176人（102）
対前年比	100%	101%	106%（110）	99%（68）

1) 企画

- 4月 アニバーサリーセール
- 5月 ガラス器フェア
- 6月 浴衣フェア
- 7月 夏のセール
- 8月 ガラス器セール、夏物一掃セール
- 9月 手芸品フェア、七五三フェア
- 10月 漆器フェア
- 11月 コートフェア、クリスマスフェア、お正月用品フェア、バッグフェア
- 12月 冬のセール
- 1月 新春市、ノリタケ・ナルミフェア
- 2月 着物フェア前冬物一掃セール、着物フェア、ひな祭りフェア
- 3月 手芸品フェア

2) ボランティア

ボランティア中心のショップ体制を作るため、ボランティアだけの枠を作りましたが、なかなか働きかけることができませんでした。今年度ボランティア登録人数33名。うち新規8名。ショップの掲示やホームページを見ての応募が目立ち、広報の成果がありました。

2回のボランティアミーティングを開催して、ボランティア間の親睦を深めると共に、ショップの実務につながる研修を行ないました。早めの声掛けなどで、参加の拡大につながりました。

9月 7日 値付け体験研修 参加12名

1月16日 ショップ緊急対応実地研修 参加14名

着物チームを作るべく、ボランティア募集を行い、きもの値付け研修に5名の参加がありました。チーム結成まではいきませんでした。より多くの参加で値付け作業を行うことができました。

3) イベント

①5月28日 ワールド・カフェ (主催:みんなのキッチン)

フェアトレード品を中心に物品販売をし、WEショップのアピールをしました。

②3月5、6日 「3.11わすれない あったか復興支援イベント」(主催: NPO法人結び)

昨年に引き続き、子供の輪投げ、物販などを企画し、その収益と、3/11のショップ売上げを合わせてザ・ピープルのコットンプロジェクトに寄付をしました。

4) 資源の有効活用

①他のWEショップやWE21ジャパンからのトレード品を活用しました。必要に応じて、他ショップへのトレードも実施し、協力して資源の有効利用に努めました。

②WE21ジャングルグループの一員として今年度も、家庭での使用済み食用油の回収に取り組み、「WE油田つづき」を継続しました。回収350Kg (前年265Kg)

③本年度も、故繊維業者「ナカノ」を通じて衣類のリサイクルに努め、同社が開発したエコ手袋を販売しました。ガラスリサイクル業者「飯室商店」を通じてガラス器のリサイクルにも努め、陶器についても「木村管工」を通じて、陶器のリサイクルを行いました。

【日時】 通年

【場所】 都筑区

【従事者】 運営委員7名、ボランティア月平均21名

【受益対象者】 一般市民

【事業支出費】 5,827,051円

2. アジア等における市民、とりわけ女性の生活向上と自立のための活動を支援する事業 (民際支援事業)

1) 民際支援事業

①カンボジアの児童労働防止事業

助成団体: 特定非営利活動法人 国際子ども権利センター(シーライツ)

事業名: カンボジア・スパイリエン州コンボンロー郡タナオコミュニケーションにおけるベトナムへの出稼ぎによる子どもの人身売買及び児童労働防止プロジェクト

助成金額： 80,000 円

10月の支援先キャンペーンでは、女子中学生のためのパソコン事業への募金を呼び掛けました。

募金額： 20,051 円

支援事業の報告会に参加し、現地の情報を得ました。

②フィリピンのコーヒーの森づくり事業

助成団体： コーディレラ・グリーン・ネットワーク

事業名： フィリピン・ベンゲット州におけるアグロフォレストリー栽培によるコミュニティづくり（コロス集落の植樹地のメンテナンス）

助成金額： 50,000 円

支援しているWE21グループメンバーとコーヒーの森支援連絡会を結成し、共同で点検評価を行うなど、情報共有や学びの場としました。

11月の台風ランドの被害に対しても、連絡会を通じて緊急支援を行いました。

緊急支援額： 30,000 円

③チョコ募金

募金先： 日本イラク医療支援ネットワーク（JIM-NET）

事業名： イラク・福島の子どもたちとシリアの難民を支援するための募金

募金額： 64,530 円

④4月に起きたネパール大地震の際、緊急募金を行いました。

募金先： シャプラニール

募金額： 15,800 円

2) 民際収益事業

フェアトレード品の販売を通じ、現地のひとたちの自立支援に協力しました。

ジンジャーティのレシピを用意したり、生産者からの手紙や写真を展示したりして、現地の様子を伝える努力をしました。

製品	支援団体	仕入額
「カピタコ」コーヒー	コーディリエラ・グリーン・ネットワーク (CGN)	21,000 円
ジンジャーティ	ウバパス/ダイヨコン/ランパダ/シュントック財団	45,000 円
カンボジア伝統の織物を使った小物	幼い難民を考える会 (CYR)	21,350 円

3) 東日本震災支援

①11月15,16日いわきのコットンプロジェクトのモニタリングツアーを実施しました。直接現地の人たちの声を聴くことができ、コットンプロジェクトを継続して、物品販売とスタディツアーなどの交流を通じた支援をしていく方針を決定しました。

②「3.11 忘れない あったか復興支援イベント」に参加し、その収益を3/11の売り上げとともに寄付しました。

助成団体：ザ・ピープル

寄付金：25,000 円

【日時】 通年

【場所】 都筑区

【従事者】 運営委員 7 名

【受益対象者】 福島の市民、アジア等（カンボジア・フィリピン・イラク）の市民

【事業支出額】 384.223 円

助成金および募金の総額

	助成金	募金
カンボジアの児童労働防止事業	80,000 円	20,051 円（パソコン事業）
フィリピン コーヒーの森づくり事業	50,000 円 30,000 円（台風ランド）	
チョコ募金		64,530 円
ネパール大地震		15,800 円
ふくしま復興支援	25,000 円	
合計	185,000 円	100,381 円

3. 地域市民の国際的な意識の自覚を促進する事業（共育活動）

1) 民衆支援や環境について理解を深める場として「WE 講座」を開催しました。

第 1 回講座 「カンボジアの伝統織物研修事業」

日時：5 月 16 日（日）

場所：かけはし都筑

講師：山極小枝子（幼い難民を考える会）

参加：13 名

第 2 回講座 「イラクの子供たちはいま」

日時：11 月 20 日（金）

場所：中川西地区センター

講師：佐藤真紀（日本イラク医療支援ネットワーク）

参加：9 名

2) 支援キャンペーンを行いました。

10 月 5 日～10 日シーライツの「カンボジアの子供たちの児童労働、出稼ぎ防止事業」の紹介と、夏休みの女子中学生のためのパソコン事業への支援募金の呼びかけをしました。

内容：ショップでのパネル展示と募金の呼びかけ

募金額 20,051 円

3) 地域のイベントに参加し WE 21 ジャパン都筑の活動を紹介するとともに、地域との交流を深めました。

5 月 28 日（木） みんなのキッチン主催 ワールド・カフェ

3月5日（土）、6日（日） NPO 法人結び主催 「3. 11 忘れない あったか復興イベント」

4) WE 2 1 グループメンバーとともに講座、研修等を共同企画しました。

1月21日（木）チョコ募金の集い スペースオルタ

主催：WE 2 1 ジャパンこうほく 共催：WE 2 1 ジャパン都筑含 8 地域 NPO

参加：119名（うち都筑6名）

【場所】 都筑区

【従事者】 運営委員7名、ボランティア5名

【受益対象者】 一般市民

【事業支出額】 64,137 円

4. 法人の事業の広報普及を図る事業（広報活動）

1) WE ニュースを発行し、WE 2 1 ジャパン都筑の活動を紹介しました。

紙面をカラー化して、読みやすい紙面を心がけました。

発行4回	4月	250部	カンボジアスタディツアー報告と、支援先紹介
	7月	200部	伝統織物事業とネパール地震支援報告
	9月	1500部	支援キャンペーン（新聞折り込み）
	12月	6000部	チョコ募金・着物フェア（ボランティア配布）

2) セールやフェアのチラシを作成し、地域に配布しました。

アニバーサリーセール	6000部	（ボランティア配布）
夏セール	500部	（周辺地域）
冬セール	500部	（周辺地域）
着物フェア	1500部	（新聞折り込み・周辺配布）

3) ミニコミ紙や新聞折り込みを活用し、より多くの人に情報を提供しました。

ミニコミ誌にフェア、セールの告知記事を掲載しました（計4回）。

新聞折込広告は、新たな地域を考慮しながら依頼しました（計2回）

今後は WE 講座のように広く周知させたいことにミニコミ誌を利用していくことを検討していきます。

4) HPを一部改訂し、より見やすく、わかりやすい内容にしました。

ショップ情報や、イベント等のお知らせをのせ、活用しました。

5) 区民活動センターやかけはし都筑の情報コーナーを活用し、寄付品提供者やボランティア希望者の紹介を受けることができました。

6) NGO 非戦ネットに参加し、平和政策への提言をアピールしました。

【場所】 都筑区

【従事者】 運営委員7名、ボランティア14名

【受益対象者】 一般市民

【事業支出額】 167,167 円

組織活動

1) 組織運営

組織事務局に関しては運営委員会で手分けし、課題だった会計、広報等をスムーズに行うことができました。しかし、継続性、専門性が問われるため、引き続き人材を確保する必要があります。

2) 会員

正会員 3月末会員34名

賛助会員 1団体、1名

参加しやすい仕組みとして賛助会員枠を作りましたが、広げることはできませんでした。

3) WE21 ジャパングループのネットワークを活かし、運営に役立てました。

①WE21 ジャパングループ会議への参加 (隔月)

②研修、講座等への参加

4月 税学習会

5月 平和講座

6月 基礎研修

9月 マイナンバー学習会

③WE21 ジャパングループの地域NPOとの連携

7月 NGO非戦ネットへの参加

10月 WEフェスタ秋への参加

1月 チョコ募金の集い 8地域NPO共催

2月 WE21 グループ会議企画 横浜北地域合同
新春の集い参加

3月 WEフェスタ春実行委員会への参加

7月～3月 生活クラブ運動グループ連携協議会
WE21 ジャパン就労支援学習会の開催

4) 研修生の受け入れを行い、WEショップでの作業を通じて環境や、海外支援について学んでもらいました。

7, 8月 つづきMYプラザ はあと de ボランティア 5名

1月 荏田南中学校 職業体験研修 2名

5) 就労支援の受け入れを1名行いました。

2016年1月より、横浜市の就労支援事業の受け入れを行いました。

6) 地域通貨「リーフ」を活用し、地域のボランティア活動を応援しました。

【場所】 都筑区

【従事者】 運営委員7名

【受益対象者】 一般市民、WE21 ジャパン都筑メンバー

【事業支出額】 176,109円